

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃（110,000 円）上記は 2025 月 5 月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用（パスポートを新規取得、更新の方）：パスポート新規申請代（5 年用 11,000 円／ 10 年用 16,000 円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要）このご旅行には、パスポートの残存有効期間が帰国日まで有効であることが必要です。（+2 週間以上の有効期限が望ましい）
- ◆お一人部屋追加料金：95,000 円（7 泊） / 45,000（3 泊）（ホテルは基本 2 名一室です）
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用（食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等）
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は 2025 年 5 月 1 日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の 23 日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	
旅行開始後日の前日から起算して遡って 30 日目以降	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の 50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の 100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費：旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、列車料金 ③宿泊費：下記ホテル又は同等クラスのホテル（弊社基準）の基本宿泊料および税、サービス料（基本 2 名一室）
④食事代：旅程表明示 ⑤見学施設の入場料
⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用
⑧添乗員 1 名同行費用 ⑨視察費用
- 旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
④個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
⑤航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃（110,000 円）2025 月 5 月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ⑥お一人部屋追加料金
⑦日本国内の交通費、前泊の費用
⑧海外旅行傷害保険料
⑨オプションツアー代

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第 84 号 JATA 正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中央区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい 11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

株式会社 富士国際旅行社

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
Mail: henshu@fits-tyo.com 担当: 山田・西須

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送または FAX でお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。

②【ウェブで仮予約の場合】下記 QR コードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。

③ 弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金 50,000 円**（旅行代金内金）をご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）

④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅 イギリス編 2025 年 8 月 8 日 (金) 発

希望コースを選択 ⇒ 【 ☐ A コース (6 日間) ・ ☐ B コース (10 日間) 】

パスポート ローマ字表記	_____	性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	_____	男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【有・無】 パスポート番号：_____ 有効期限： 年 月 日	
住所	(〒 _____)				
連絡先	【tel】 (_____) _____ 【携帯】 _____ 【e-mail】 _____				



A コース 6 日間		B コース 10 日間	
旅行期間	8 月 8 日 (金) ～ 8 月 13 日 (水)	旅行期間	8 月 8 日 (金) ～ 8 月 17 日 (日)
旅行代金	658,000 円 (成田発着)	旅行代金	820,000 円 (成田発着)

※どちらのコースも、上記の旅行代金のほかに航空券に付随する燃油付加運賃・空港税・空港施設使用料・国際観光旅客税が別途かかります (2025 年 5 月現在：110,000 円)。このレートは発券時に確定いたします。変動があった場合、差額は徴収または返金いたします。

最少催行・定員 (A・B 合わせて)	定員 15 名 (最低実施人数 10 名)	添乗員 (A・B 合わせて)	1 名同行します
申込締切	2025 年 7 月 11 日 (金) ※定員に達し次第締切となります。お早めにお申込みください。		

Point

● A コースはロンドン連泊でゆったり見学♪

● B コースはマルクス、エンゲルスが利用した保養地をめぐるります。

● エンゲルスが愛し、散骨した海があるイーストボーンを訪れます。

Peace Green Humanity
(株) 富士国際旅行社

旅行企画・実施

〒231-0062
神奈川県横浜市中央区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい 11F-4

日付	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）		
① 8/8 (金)	成 田 発 経 由 地 着 / 発	航空便 航空便	成田空港集合（成田空港集合：19時00分頃予定） 經由便にてイギリスの首都ロンドンへ		
			機 中 泊	朝 × 昼 × 夕機	
② 8/9 (土)	ロ ン ド ン 着	専用車	ロンドン着 夕方：ロンドン中心部見学 ＊テムズ川 ＊ビッグベン など		
			ロ ン ド ン 泊	朝機 昼○夕○	
③ 8/10 (日)	ロ ン ド ン	専用車	＜終日：ロンドン市内見学＞ ＊大英博物館 ＊バッキンガム宮殿 ＊マルクスの墓 ＊ジョージ・オーウェルの書店跡地 ＊エンゲルスの住居 ＊マルクス図書館 など		
			ロ ン ド ン 泊	朝○昼○夕○	
④ 8/11 (月)	 カール＝マルクス  フリードリッヒ＝エンゲルス		＜終日：自由行動-1＞ ★希望者はオプショナルツアーご案内		
			ロ ン ド ン 泊	朝○昼×夕×	
⑤ 8/12 (火)			Bコース	Aコース	
			＜終日：自由行動-2＞ ★希望者はオプショナルツアーご案内	出発まで自由行動 夜：空路、ロンドン発 帰国の途へ	
			ロ ン ド ン 泊	朝○昼×夕×	
			機 中 泊	朝○昼×夕機	
⑥ 8/13 (水)	ロ ン ド ン 発 イーストホーン着	公共交通	午前：イーストボーンへ ＊エンゲルスの の遺灰がまかれたビーチヘッド		
			ブ ラ イ ト ン 泊	朝○昼○夕○	
			夜：成田空港着 （到着時刻：20時30分頃予定）		
			朝機 昼 × 夕×		
⑦ 8/14 (木)	ポ ー ツ マ ス ワ イ ト 島	専用車	午前：ポーツマス見学 見学後、フェリーでマルクス最後の保養地、 ワイト島ヴェントナーへ		
			ブ ラ イ ト ン 泊	朝○昼○夕○	
⑧ 8/15 (金)	ラ ム ズ ゲ ー ト マ ー ゲ イ ト	専用車	午前：ラムズゲート見学 午後：マーゲイト見学、ロンドンへ		
			ロ ン ド ン 泊	朝○昼○夕○	
⑨ 8/16 (土)	ロ ン ド ン 発	航空便	出発まで自由行動 夜：空路、經由便にて帰国の途へ		
			機 中 泊	朝 × 昼 × 夕機	
⑩ 8/17 (日)	成 田 空 港 着		成田空港着（到着時刻：14時30分頃予定）		
			朝機 昼 × 夕×		
※現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。●利用航空会社：チャイナエアライン、キャセイパシフィック航空 エティハド航空、マレーシア航空など ●宿泊予定ホテル：ロンドン＝ロイヤルナショナルホテル ブライトン＝イビス ブライトン シティ イセセンター ステーションまたは同等クラス●旅程表のマーク：朝＝朝食、昼＝昼食、夕＝夕食、機＝機内 ※機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。サービスが無くなった場合は各自でおとりいただきます。					

イギリス基本情報

- 正式名称：グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国
- 面積：24万2741Km²
- 人口：6826万5千人（2023年推定） ・首都：ロンドン
- 時差：－9時間（サマータイム時－8時間）
- 宗教：キリスト教59.5%（英国国教会が国教。他にメソジストやカトリックなど）、イスラム教4.4%、無宗教25.7%

【気候】イギリスの気候は西岸海洋性気候に属し、年間を通して穏やかで、夏は涼しく冬はそれほど寒くありません。雨が多いイメージの国ですが、梅雨時の日本の3分の1ほどの降水量がほぼ年間をとおして続きます。1日の天気が変わりやすく、めまぐるしい気温の変化があります。1日中雨が降ることはめったになく、数時間雨が降るようなことが多いです。雨具の準備は忘れずに。夏でもカーディガンやトレーナーなどをご準備いただくと良いでしょう。

旅のおさそい

マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねるツアーも5回目となります。

今回のイギリスは2回目です。1回目では回り切れなかったところを中心に行く予定です。目玉は、マルクス、エンゲルスが保養地として、健康回復、休養のために訪れた憩いの場をめぐることです。

イーストボーンは、ロンドンから南に電車で2時間弱のところ、海に面した人気の保養地です。2人とも訪れていますが、圧倒的にエンエルスが多く訪問しています。エンゲルスが好んで使った宿の建物も残っています。エンゲルスはこの地を愛した証として、亡くなった後、遺灰を白亜の海岸のビーチヘッドの沖合にまいています。このビーチヘッドのあたりは、シャーロック・ホームズが探偵引退後に過ごしたところとして小説で設定されていることでも知られており、モデルとされた建物に記念碑があります。

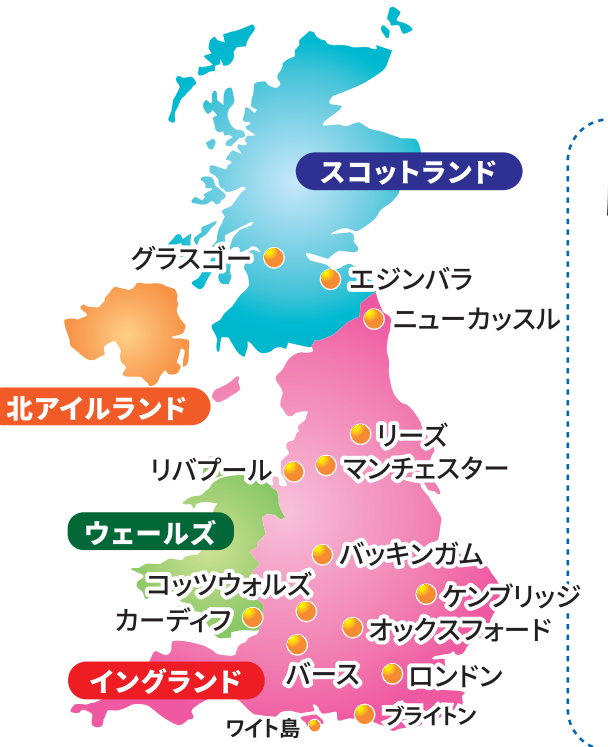
2人が保養地として何度も利用したのがラムズゲートです。ロンドンから東に電車で2時間強のところ、ここは、マルクスの娘ジェニー夫妻が暮らし、孫のエドガーも生まれています。記念碑もあります。

興味深いのは、オランダの画家フィンセント・ファン・ゴッホ（1853-90）が、学校の助教師として1876年4月16日から6月23日に、ラムズゲートに滞在していたこと。この地でのスケッチも残しています。そしてエンゲルスはこの時期（5月20日から6月半ば）、ラムズゲートで保養していたのです。500メートルくらいの距離のところ。すれ違うこともあったでしょう。

マルクスが亡くなる直前に保養していたワイト島のヴェントナーにも行ってみたいと思っています。

ロンドンでは2人の定番のゆかりの地を訪問しながら、前回行ききれなかった興味深い場所もいくつか開拓する計画です。

マルクス、エンゲルスが人生の大半をすごしたイギリスは見どころ満載です。ぜひ、一緒にしましょう。



BOOK

ツアー企画者・坂本茂夫さんの書籍、ブックレットをご紹介します。ご興味のある方は旅行社までお問い合わせください。

『資本主義の告発者とパンデミック マルクス、エンゲルスの足跡』
出版社:新日本出版社

資本主義の告発者とパンデミック

マルクス、エンゲルスの足跡から坂本茂男

19世紀に大流行したコレラとマルクス、エンゲルスの接点を探究したものです。マルクスもコレラに感染していた事実に注目。エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』、マルクス『資本論』におけるコレラ関連の記述をおり、彼らが分析のもとにしていた公衆衛生関連の文献にあたって掘り下げています。その関連のイギリスのロンドン、マンチェスターでフィールドワークをおこなって深め、写真なども多数掲載しています。

『マルクスとパリ』――ゆかりの地のカラー写真満載
発行:富士国際旅行社

2023年におこなったパリでのマルクス、エンゲルスのゆかりの地のフィールドワークの成果を盛り込んだパンフレットです。マルクス、エンゲルスの住居跡、マルクスの2人娘の住居跡、マルクスの娘、婿の墓など貴重な写真もおさめています。マルクスたちが利用した事務所跡やパリ・コミューンの最後の激戦地なども紹介。また、マルクスの長女ジェニーのアルジャントウイユの家の近所にあった印象派の画家クロード・モネのアトリエ跡にも訪問し、モネがセーヌ川などで写生した地点も訪ねて紹介しました。マルクスの見た風景として連想しています。

『マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねて ドイツ、ベルギー、オランダ』
発行:富士国際旅行社

2024年にドイツ、ベルギー、オランダをまわりました。訪問した経験を踏まえながら、各地の紹介をしています。ドイツ、ベルギーは、マルクス、エンゲルスとも生まれてから、30歳くらいまで活動した地なので、彼らの青春時代の紹介にもつながっています。オランダは、マルクスの母親の出身地で、マルクスの親戚の多くが暮らし、交流がありました。マルクスとの思わぬつながりに興味をもたれるかもしれません。

highlight

旅の見どころ





大英博物館



マルクス図書館



イーストボーン ビーチヘッド

KARL MARX

1818-1883

stayed here 1866